

# 容器包装の削減

## 容器包装をなるべく使わない販売への取り組み（発生抑制）

1995年に成立し、1999年に完全施行された「容器包装リサイクル法」は、10年後の見直しを迎え、様々な検討が成されています。この法律は、増え続ける家庭から出る廃棄物の中で、60%も占める「容器包装」を発生抑制、リサイクルを進めるためにできました。しかしながら、廃棄物はなかなか削減が進みませんし、使用される容器包装も減ってはいません。ユニーでは、販売する商品やそれをお持ち帰る時に使用する包装資材の削減に努めるとともに、お客様にご理解とご協力をお願いしています。

### 食品ノーレジ袋キャンペーンの実施

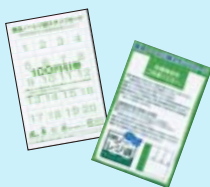
「地球環境保全と廃棄物削減のために」を目的とした「食品ノーレジ袋キャンペーン」を2006年3月から全店で実施しています。ユニーでは1989年から「お買物袋持参運動」を実施してきましたが、

お買物袋の持参率も横ばいの状態だったため、いくつかの変更点を加え、新たな取り組みを始めました。

#### 従来の「お買物袋持参運動」との変更点

##### 1 スタンプカードをリニューアル

スタンプカードのスタンプが20個押されたら、そのまま100円のお買物割引券として使えるようになりました。



##### 2 「Wスタンプデー」の実施

毎週火曜日と毎月5日（ノーレジ袋の日）、さらに環境月間の6月と10月は全日を「Wスタンプデー」とし、マイバッグを持参してレジ袋を辞退された方にスタンプを2個押させていただきます。

##### 1 お買物袋の販売

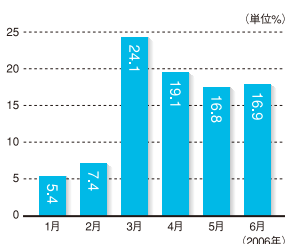
食品レジの前で各サイズ取り揃えたお買物袋を販売しています。



### 食品ノーレジ袋キャンペーンの成果

キャンペーンを開始した2006年3月1日からレジ袋の辞退率は着実に上がっています。それに伴い、レジ袋の購入数量も減少しています。レジ袋は売上げが伸びると配布数が増加し、売上げが減ると減少しますが、2006年3月からは食品の売上げが約5%伸びているので、これも考慮すると、レジ袋は約10%削減されたと考えられます。

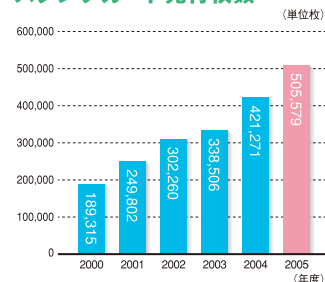
#### ユニー全社のレジ袋辞退率の推移



#### ユニー全社のレジ袋購入枚数の前年同月比

2006年	購入枚数前年同月比 (%)
1月	101.9
2月	103.7
3月	104.6
4月	92.4
5月	96.3
6月	94.9

#### スタンプカード発行枚数



### お買物レジ袋削減への取り組み

#### ▶▶▶ レジ袋のサイズや配布の見直しを実施

##### ● レジ袋使用量・重量の推移

2000年	1枚当たり重量の軽量化を図るため薄くて強い袋に改善	2,507t
2001年	レジ袋各サイズの容量の見直しを検討	2,265t
2002年	新サイズに切り替え使用枚数削減	2,403t
2003年	お客様に適正枚数配布の教育実施	2,329t
2004年	従業員全員にマイバッグ配布	2,242t
2005年	愛・地球博エコマネーに参加	2,028t

### 容器包装リサイクル法への対応

2000年度より、容器包装リサイクル法に基づき、財団法人容器包装リサイクル協会への委託料金を下表の通り支払いました。2006年、プラスチック製容器包装の廃棄量は3,036tで、委託料金は2億7,050万円でした。同様に紙製容器包装は84tで171万円、ペットボトルは109tで99万円、委託金の合計金額は2億7,322万円となりました。

2000年度	7,100万円
2001年度	1億2,100万円
2002年度	1億1,800万円
2003年度	1億4,900万円
2004年度	2億1,350万円
2005年度	2億5,487万円
2006年度	2億7,322万円